

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 2 月 22 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200866		
法人名	有限会社サカコーポレーション		
事業所名	グループホームガーデンの家		
所在地	〒731-0103 広島県広島市安佐南区緑井七丁目5番11号 (電話) 082-962-6541		
自己評価作成日	令和4年1月27日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200866-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年2月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>認知症に特化した事業所になれるように、様々な研修を行っています。決まった生活リズムではなく、入居者一人ひとりのリズムに合わせた対応をしています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者の最後の10年を最高の人生にする理念を掲げ、日々職員は認知症を理解し、自己のケアの振り返りを行いケアの質の向上に取り組み、利用者がどう過ごしたいか、どうしたいかを常に最優先事項と捉えて対応をしている。コロナ禍の中、ベランダを活用して、ガーデニング、日向ぼっこに加え、家族とのベランダ越しの面会が行われている。利用者が希望する具材を味噌汁にすぐ取り入れるなど楽しい食事の提供を心掛けている。自立排泄にも力を入れ、筋力低下を予防するため足腰を鍛える支援が行われている。医療、災害対策、職員研修も充実させ安心安全にも配慮している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(なんてん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の朝礼や1回/2か月で開催の倫理綱領（社内研修）で唱和を行っている。	リーダーを中心に職員全員で作った運営理念の一つ、「最後の10年が最高の10年となるための様々な価値を提供する」ことを実践している。看取りを視野に入れた研修など増やして運営理念を実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍で地域との行事が行えていない。	コロナ禍でも地域の人から花が届けられるなど交流がある。以前、利用者と地域の人とのふれあいの場として企画したプールイベントの再開を望む地域の母子のサークルからの問い合わせがあり、企画の目的である施設の様子を知ってもらおう機会を設け交流を行う予定である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	以前は認知症カフェを開催していたが、参加人数が増えないこと、開催にあたっての準備等が負担になり、現在は中止している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	4/3、8/7、10/2、12/4で開催した。利用状況や身体拘束廃止に向けた取組み、日常の様子（写真）を報告している。	併設の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で行われており、双方の活動報告、話し合い、助言をサービスの質の向上に繋げている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営上不明な点があれば問い合わせをしているが、無ければ連携を取ることはない。7月が指定更新だったため、手続きを完了した。	市の介護保険課からのアンケートに積極的に協力している。地域包括支援センターだよりを配布してもらい認知症介護など情報を得ている。	

自己評価	外部評価	項目(なんてん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ユニット間の壁をなくすためにチーム目標を「OPENフロア」に設定し、ユニット間の扉を開け、利用者・職員ともに自由に行き来が出来るようにしている。また委員会を毎月開催し、マニュアルの見直しや内部研修の実施、スピーチロックの現状を共有し、身体拘束に繋がる不適切ケアをなくす取り組みをしている。</p>	<p>スピーチロックに関しては毎日申し送りの時に振り返りを行い、状況確認を行い、こういう言い方、アプローチの仕方をすればよかったなど、反省点を利用者のケアの向上に繋げる取り組みを行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止委員会を10月から開催した。指針を共有し、自己点検シート実施、解析、ワークショップの開催、改善計画の実施、評価のサイクルを年2回実施していく。</p>	/	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>学ぶ機会は持てておらず、理解が出来ていない。</p>	/	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、重要事項説明書を用い説明を行っている。説明不足もあり、必要物品や入居後の訪問診療への切り替えで家族からクレームが入った。(記録有)</p>	/	
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営懇談会を実施しておらず、またご意見箱はあるが、活用できていない。ご家族から直接伺った話を職員間で共有し、反映させている。</p>	<p>以前はクリスマス会、敬老会などで家族の意見、要望を直接聞いて運営に反映させていたが、コロナ禍の折、電話で意見を聴く機会を設けている。利用者からの訴えは、職員で共有し、介護計画作成等に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(なんてん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	1回/月開催の全体ミーティング(代表者、各管理者、本部参加) 1回/月開催の部門ミーティング(管理者、計画作成担当者、リーダー参加) 1回/月開催のチームミーティング(リーダー、職員参加)を行っている。	マスク着用で入浴介助をするには水分補給が必要との職員の要望に応じて、ポカリスエットが支給されるようになった。有給休暇も取得しやすいうように、「希望休日記載表」に有休残日数を表示して分かりやすく、働きやすい職場環境の構築に職員の意見を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課の取組として、正職員には半期に1度の目標設定に対するの評価、パート職員には年1度の目標設定に対するの評価を実施している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	倫理綱領や地域密着事業所合同研修の開催、資格取得支援で実務者研修や介護福祉士、介護支援専門員の取得を支援している。また、管理者、リーダー、相談員といった階層別研修も実施している。また、委員会やエキスパートトレーナー、エキスパートコーチなどのスキルアップ向上の取組みをしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者との関わりはなく、交流する機会が作れていない。職員からは、他事業所の見学の希望の声は出ている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人の声を聞くことに努めているが、主張が強いご家族の意見が優先されることもある。		

自己評価	外部評価	項目(なんてん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に要望など伺い、ケアプランを提示し内容を説明した上で、足りないことがあれば修正し納得していただけるサービス提供を実施している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご家族の置かれている状況、ご本人様の状態をきちんと把握した上でのサービス利用をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者様が気兼ねなく安心して生活して頂けるようコミュニケーションをはかり信頼関係が気付けるようしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>生活をしているようにご本人様のペースに合わせた生活が送れるよう支援している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>年賀状など手紙を送ったり、また、ご家族からもなじみの方からのお手紙、プレゼントをお預かりすることもある。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が少し収束した時点で、家族との外出、外泊、外食、年越しを過ごすなど関係継続を支援している。リモート面会だけでなく、道路に面したベランダ越しに家族との面会機会を設けるなど利用者と家族との関係が途切れないよう寄り添った支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(なんてん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	職員が間に入り、かかわりが持てるよう支援している。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	定期的に連絡を取り、ご本人様、ご家族様の様子をうかがっている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	普段の様子観察から困りごとがあるときはスタッフ間で共有し検討し、対応している。	一人ひとりの細かな思いを把握し、職員間で共有し、検討を重ね、思いや意向を実践に繋げている。利用者の「初詣に行きたい」という希望を把握した職員は、安全の配慮や工夫で希望を実践に繋げている。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	入居の際ご家族、ご本人様からうかがっている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	毎日のバイタルチェック、生活記録等で把握に努め、職員間での共有を図っている。		

自己評価	外部評価	項目(なんてん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご家族、ご本人からのニーズ、また、職員からの提案等話し合い楽しみを持てる計画作成をしている。</p>	<p>家族、職員からはできないことの情報ではなく、できること、前向きな意見や情報を得て、楽しみの持てる介護計画づくりをしている。家族から身体機能低下の予防として散歩、体操の他、腕に巻くダンベルでの筋トレの希望があり介護計画に取り入れ作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>モニタリングにより介護計画の検討、見直しを実施している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様のその日その日の心身状況に合わせた対応をしている。看取りも取り組む予定である。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍で地域との行事が行えていないが、初詣に行くことができた。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診表を用いて日頃の様子、変化等を伝え、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>かかりつけ医の継続受診は原則家族対応であるが事業所も関係を築きながら支援を行っている。日ごろの様子などを安佐医師会作成の受診表を活用して伝え適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(なんてん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師が来た際、相談しながら対応しており、変化があった際も連絡をとり、連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的に情報収集、相談を実施している。日頃の受診などで関係づくりを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	カンファレンスを実施し、主治医の先生からもご家族に対しお話をしていた。	終末期に向けて、家族の意向を把握している。利用者の情報を早い段階から共有する取り組みを行っている。医師は家族に利用者の現状、今後の方針を状況の変化に応じてその都度説明している。全職員で経営の理念である最後の10年が最高の10年になるよう見守り支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に研修を実施し、周知を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的な運営推進会議の実施にて地域での連携を図れるよう協議している。定期的な避難訓練を実施している。	洪水や地震など自然災害、特に夜間の避難対応や災害時の利用者へのサービスをどう継続するかなど検討しマニュアル作成中である。地域との連携は町内会長とも話し合い協力体制を取っているが、地域の高齢者を受け入れることも視野に入れ取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(なんてん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	委員会、ワークショップを実施し職員間で徹底できるようにしている。	誇りやプライバシーを損ねる対応がないか職員に自己点検シートでアンケートを実施している。同じ訴えが何度もある原因、解決策、振り返りをワークショップで行い、業務優先を改善して利用者優先に取り組むことで傷つける言葉かけの減少に反映させている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	傾聴し、コミュニケーションを取りながら働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人にお伺いをたてながら、希望に沿った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	介助が必要な方に対してはおうかがいをし支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	配膳、下膳の手伝いをさせていただいている。好みの具材を入れた味噌汁を作っている。	味噌汁の具にイモや卵などの希望があるとすぐ要望を取り入れ好みの食事の提供を行っている。利用者の希望のホットケーキやたこ焼きをおやつレクリエーションの機会に職員と一緒に作って日常的に楽しい時間となる支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(なんてん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	器を変えたり、小分けに提供したり、個人に合わせた提供を実施している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	一人一人に合った口腔ケア用具を使用し、実施している。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	ある程度の時間を決めての対応が多いが、今後個別でのケアができるよう現在検討中。	自立排泄を職員共通の目標として、時間対応と自発対応の双方を組み合わせ、個々人に適した自立支援を行っている。一人でトイレに行く自立排泄に不可欠の歩行訓練や尿漏れ防止体操などを取り入れて支援している。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	毎日の体操は実施しているが、飲食物に対する工夫はできていない。主治医に相談し、薬での調整を行っている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	曜日は決めて実施しているが、利用者様自体は楽しみにされている。また、拒否があれば時間、日程を変更し対応している。	浴槽には滑り止めマットを敷き安全への配慮をしている。ゆず湯やしょうぶ湯で季節感を楽しめるよう支援している。壁には写真を貼り入浴を楽しむことができる工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目(なんてん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>一人一人の習慣、体調に合わせた支援を実施している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬情、主治医からの指示のもと服薬の支援を実施し、変化の確認に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個人の楽しみごとをしていただいている。毎日の体操、手すり拭き、食後の下膳、お盆拭き等のお手伝いを進んでされる方もおられる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナのおさまっていた時期はご家族様と買い物や外出、一時帰宅に行かれている。元旦は初詣に職員と出かけている。</p>	<p>毎日、施設の周囲を散歩する支援をしている。一時期コロナが治まりそうな際には利用者の希望で自宅へ帰宅したり、家族と外食に出掛けたりしている。利用者の希望で元旦には初詣に出かけ、出店でタコ焼きを求め楽しい正月を過ごせるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>現在、入居されておられる方はお金を所持されていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目(なんてん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望時に対応している（電話をしたい、手紙を書きたい等訴え時）。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用の空間の整理整頓、テレビの音量調整、カーテンの開け閉め、照明の調整の実施をしている。入居様に合わせた室内温度の調整を実施している。季節に合わせた飾り等をし季節感を取り入れている。</p>	<p>朝食の用意をする音や匂いが漂い五感を刺激する生活感のある居心地の良い空間になるよう配慮している。リビングの前にはベランダがあり、ガーデニングで植えた草花を楽しめるよう工夫している。ベンチも設置され、ひなたぼっこを楽しめ空間になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>気の合う人との座席の配慮、縛りのない時間（この時間はこれをしなくてはいけない等）を過ごすことができるよう対応している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使用していたなじみの家具等を持ってきていただいたりし対応している。</p>	<p>日常使用している家具や使い慣れたテレビ・ラジカセなどの家電で音楽を楽しむなど、居心地よく過ごせるよう配慮している。床にマットを敷き座る生活で家にいた時と同様の居場所づくりを工夫し支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>職員間で一人一人の能力を把握したうえで、必要な介助をしながら、自立した生活が送れるよう対応している。</p>		

V アウトカム項目(なんてん) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(ひいらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	毎朝の朝礼や1回/2か月で開催の倫理綱領（社内研修）で唱和を行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍で地域との行事が行えていない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を活用し発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	4/3、8/7、10/2、12/4で開催した。利用状況や身体拘束廃止に向けた取り組み、日常の様子（写真）を報告している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営上不明な点があれば問い合わせをしているが、無ければ連携を取ることはない。7月が指定更新だったため、手続きを完了した。		

自己評価	外部評価	項目(ひいらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ユニット間の壁をなくすためにチーム目標を「OPENフロア」に設定し、ユニット間の扉を開け、利用者・職員ともに自由に行き来が出来るようにしている。また委員会を毎月開催し、マニュアルの見直しや内部研修の実施、スピーチロックの現状を共有し、身体拘束に繋がる不適切ケアをなくす取り組みをしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止委員会を10月から開催した。指針を共有し、自己点検シート実施、解析、ワークショップの開催、改善計画の実施、評価のサイクルを年2回実施していく。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>学ぶ機会は持っておらず、理解が出来ていない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、重要事項説明書を用い説明を行っている。説明不足もあり、必要物品や入居後の訪問診療への切り替えで家族からクレームが入った。(記録有)</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営懇談会を実施しておらず、またご意見箱はあるが、活用できていない。ご家族から直接伺った話を職員間で共有し、反映させている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひいらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	1回/月開催の全体ミーティング(代表者、各管理者、本部参加) 1回/月開催の部門ミーティング(管理者、計画作成担当者、リーダー参加) 1回/月開催のチームミーティング(リーダー、職員参加)を行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課の取組として、正職員には半期に1度の目標設定に対する評価、パート職員には年1度の目標設定に対する評価を実施している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	倫理綱領や地域密着事業所合同研修の開催、資格取得支援で実務者研修や介護福祉士、介護支援専門員の取得を支援している。また、管理者、リーダー、相談員といった階層別研修も実施している。また、委員会やエキスパートトレーナー、エキスパートコーチなどのスキルアップ向上の取組みをしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者との関わりはなく、交流する機会が作れていない。職員からは、他事業所の見学の希望の声は出ている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人の声を聞くことに努めているが、主張が強いご家族の意見が優先されることもある。		

自己評価	外部評価	項目(ひいらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に要望など伺い、ケアプランを提示し内容を説明した上で、足りないことがあれば修正し納得していただけるサービス提供を実施している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご家族の置かれている状況、ご本人様の状態をきちんと把握した上でのサービス利用をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者様が気兼ねなく安心して生活して頂けるようコミュニケーションをはかり信頼関係が気付けるようしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>生活をしているようにご本人様のペースに合わせた生活が送れるよう支援している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>年賀状など手紙を送ったり、またご家族からもなじみの方からのお手紙、プレゼントをお預かりすることもある。 ZOOM面会</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひいらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事や体操の場面で入居者同士関わられるように席の配置を考えたり、レクリエーションでコミュニケーションが取れるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	管理者や計画作成担当者がサービス利用終了後にご家族と連絡を取り合うことがあり、その際にご本人の状態をお聞きし、職員間で共有をしている。相談や支援などの関りはない。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	基本務めるようにしているが、利用者優先ではなく業務優先になることがあり、課題と捉えている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	フェースシートやご家族へ聞き取りを行い、関わっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	フロア日誌や生活記録、申送りで共有している。		

自己評価	外部評価	項目(ひいらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成担当者を中心に、ご家族や介護職からの情報を集め、ケアプランの見直しを行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫はこの職員では把握しているが、情報共有がスムーズに行えておらず、情報が漏れることがある。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>従来通りの型から変われずにいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍で地域との行事が行えていないが、初詣に行くことができた。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご家族や本人の希望の受診体制を取っている。かかりつけ医への受診継続や訪問診療への切り替えなど。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひいらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師が来た際、相談しながら対応しており、変化があった際も連絡をとり、連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的に情報収集、相談を実施している。日頃の受診などで関係づくりを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	カンファレンスを実施し、主治医の先生からもご家族に対しお話をいただいている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に研修を実施し、周知を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的な運営推進会議の実施にて地域での連携を図れるよう協議している。定期的な避難訓練を実施している。		

自己評価	外部評価	項目(ひいらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	委員会、ワークショップを実施し職員間で徹底できようしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	傾聴し、コミュニケーションを取りながら働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人にお伺いをたてながら、希望に沿った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	介助が必要な方に対してはおうかがいをし支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	配膳、下膳の手伝いをさせていただいている。好みの具材を入れた味噌汁を作っている。		

自己評価	外部評価	項目(ひいらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	器を変えたり、小分けに提供したり、個人に合わせた提供を実施している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	一人一人に合った口腔ケア用具を使用し、実施している。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	ある程度の時間を決めての対応が多いが、今後個別でのケアができるよう現在検討中。		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	毎日の体操は実施しているが、飲食物に対する工夫はできていない。主治医に相談し、薬での調整を行っている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	曜日は決めて実施しているが、利用者様自体は楽しみにされている。また、拒否があれば時間、日程を変更し対応している。		

自己評価	外部評価	項 目(ひいらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	一人一人の習慣、体調に合わせた支援を実施している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている。</p>	薬情、主治医からの指示のもと服薬の支援を実施し、変化の確認に努めている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。</p>	個人の楽しみごとをしていただ いている。毎日の体操、手すり拭 き、食後の下膳、お盆拭き等のお 手伝いを進んでされる方もおら れる。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。</p>	コロナのおさまっていた時期は ご家族様と買い物や外出、一時 帰宅に行かれている。元旦は初 詣に職員と出かけている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	現在、入居されておられる方は お金を所持されていない。		

自己評価	外部評価	項目(ひいらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	希望時に対応している(電話をしたい、手紙を書きたい等訴え時)。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	共用の空間の整理整頓、テレビの音量調整、カーテンの開け閉め、照明の調整の実施をしている。入居様に合わせた室内温度の調整を実施している。季節に合わせた飾り等をし季節感を取り入れている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	気の合う人との座席の配慮、縛りのない時間(この時間はこれをしなくてはいけない等)を過ごすことができるよう対応している。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	自宅で使用していたなじみの家具等を持ってきていただいたりし対応している。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	職員間で一人一人の能力を把握したうえで、必要な介助をしながら、自立した生活が送れるよう対応している。		

V アウトカム項目(ひいらぎ) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームガーデンの家

作成日 令和4年4月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	介護計画の説明時に家族への説明が出来ておらず、本人の生活の様子もしっかりと伝えれていない。	年1回の家族とのカンファレンスの実施。 状態変化時の介護計画の見直し、カンファレンスの定着。	・スケジュールの作成 ・家族への説明 ・実施	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。